

お知らせ

当社の新型コロナウイルス対策 ～コロナ禍への挑戦～

我が国はもとより世界中に不安感を与えている新型コロナウイルス対策については、令和2年4月16日に政府が全国に緊急事態宣言を発出して以来、官民挙げての感染防止対策が奏功し、5月25日までに段階的に当該宣言が解除されているところです。

愛媛県においても、6月19日から感染縮小期に移行し、経済活動が回復基調にあるところですが、7月中旬以降、大都市圏をはじめとして全国的に感染者の増加が顕著となり、第二波到来が懸念されています。

お客様の安全安心を追求する事業を行う当社にありましては、社員による感染リスクは甚大なものがあるところから、社員及び家族の感染防止のため以下の対策を推進し、一部の対策は現在も継続実施中であります。

感染の終息については未だ不透明ですが、「油断大敵、気を抜かない。」ことを肝に銘じ、今後の情勢に応じた更なる対策の強化に努めてまいりたいと考えています。

令和2年7月

1 本社・支社事務所における感染防止対策

(1) マスク、フェイスシールドの着用

お客様と接する松山空港保安検査担当の隊員はもとより、全社員がマスクを着用して業務に従事しています。また、伊方原子力発電所構内において勤務する隊員は、熱中症予防の観点からフェイスシールドを着用しています。

(2) 手洗い、消毒の徹底

全社員が手洗いを徹底するとともに、各事務室にはアルコール消毒液や除菌機器(エアバスター)を設置しています。

(3) 毎日の検温

毎日の検温により、社員一人一人が健康管理に努め、発熱の際の早期受診に努めています。

(4) 事務所内の飛沫防止シートの設置

事務机の間には、社員手作りの飛沫防止シートを設置して、社員相互の飛沫感染を防いでいます。

(5) 定時の換気、機器等の消毒

毎日、定時に事務所内を換気、多数人が触るドアノブやOA機器の消毒を行っています。



▲松山空港における警備状況(マスク着用)



▲アルコール消毒液や除菌機器



▲事務所内の飛沫防止シート

2 勤務形態の変更

(1) 時差出勤の実施

部署により時差出勤を推奨し、一定空間に集まる社員数の抑制に努めました。

(2) 直行、直帰の実施

お客様への訪問については、担当社員が自宅から直行あるいは直帰し、事務所内の密の防止に努めました。

3 勤務部署の分離

(1) ガードセンターの一部移設

現場の隊員を指揮するガードセンターは当社の生命線であり、感染によりセンターが崩壊しないよう、別動隊として所要人員を別室に移設しています。

(2) 隊員待機室の移設

隊員待機室を事務室隣接から別室に移設し、密状態の解消に努めました。



▲ガードセンター分室(出入口)

4 会議・出張等の自粛(中止)

(1) 朝礼の中止

社員が多数集合する週初めの朝礼を4月以降取りやめました(7月から再開)。

(2) 集合教育の延期

警備業法で規定されている社員教育については、長時間の密状態を避けるため中止しており、再開後も少数人数の短時間教育に方針を変更しています。

(3) リモート会議の導入

リモート会議システムを構築し、支社長会議を集合会議からリモート会議に変更したほか、部門別会議・教育等についても同会議システムを利用して行っています。

(4) 出張の自粛

感染者多発地域への出張を禁止するとともに、不要不急の出張や会議についても自粛しました。



▲リモート会議の状況

5 来訪者に対する措置

(1) 事務所以外での応対

お客様とは応接室で面談していましたが、ご了解をいただき面談コーナーでの応対をさせていただきました。

(2) 出入り業者様の事務所内立入りの回避

郵便、宅配、納入業者様等には、本館玄関での受け渡しにご協力いただきました。

6 飲食・私生活関係

(1) 昼食時の措置

昼食時の飛沫感染を防止するため、社員の対面昼食を禁止して、時間差昼食や一人昼食を励行しました。

(2) 飲食店の利用禁止(自粛)

接待を伴う飲食店の利用を禁止するとともに、三密回避措置がとられている飲食店に限り自己責任における利用にとどめるよう指示しています。

(3) 県外旅行の禁止(自粛)

県外への旅行は地域によって禁止又は自粛とし、やむを得ない事情で県外へ旅行する場合には、事前の届出や行き先地報告、帰宅後の体調報告を義務付けました。

7 感染時の措置

万が一、社員に感染者が確認された場合は、保健所や自治体と連携し、次の措置を徹底します。

- 勤務場所の消毒
- 濃厚接触者の調査・把握
- お客様への通報
- 対象社員及び家族の待機
- 入院治療

8 コロナ禍における新規事業の推進

コロナ禍の中、各種イベントの中止、航空機の欠航(減便)等によって、当社の業績は厳しいものが予想されますが、新規事業である

- 防護服、フェイスシールド
- オゾン発生型除菌機
- 非接触型検体温計
- AI 体温測定顔認証装置

等の対コロナ資機材についても取り扱っています。



▲当社の取扱商品

発熱の疑いのある人を効率的に発見



50cm から 1m の位置に立つと、自動で額の温度を基準に体温の予測値を表示します。
設定した温度以上の体温が検知された場合にはアラームが鳴り、再検査を促します。
AI 顔認証機能とパソコン(人事管理ソフト)を組み合わせることで出勤の管理もでき、遠隔でモニタリングすることも可能です。

▲AI 体温測定顔認証装置